

とねりこ 83

知的障害者施設 いみず苑広報誌

うたっておどって
たのしんで!

3年ぶりの開催
第26回 いみず苑祭



発行

社会福祉法人 射水福祉会 いみず苑・いみず苑保護者会

〒933-0252 富山県射水市七美727 TEL 0766-86-1126 FAX 0766-86-1136 <http://www.imizuen.jp/>

【とねりこ】 かつて射水平野の水田の畦道に植えられていたこの木は、湿地を好み強い風にも倒れないことから、刈り取った稲を干す稲架（はさぎ）に利用されていました。

／待ってました！／

第26回

いみず苑祭

新型コロナウイルス感染予防対策を講じた上で、3年ぶりに開催いたしました。従来より規模を縮小して、ステージ発表、展示のみ開催いたしました。久しぶりのいみず苑祭に、皆さん自然と笑みがこぼれました。



射北中学校吹奏楽部の演奏

「嵐メドレー」や「学園天国」など、迫力ある生演奏に、皆さん自然と体が動きました。



新しい日常の紹介 (スライドショー・展示)

コロナ禍における利用者さんの新しい生活様式や作業風景などを、スライドショーや展示で紹介しました。

スペシャルマジックショー 2人のマジシャンがあっと驚くマジックを披露しました。



射北中学校
稲垣 颯真さん

カードマジックを披露！利用者さんが選んだカードを見事当てると、「おーっ」と歓声があがりました。



堺 将寿 職員

「ワン、ツー、スリー！」でふわっと机が浮かび上がりました！楽しいトークとともに、笑いとおどろきのマジックショーでした。

職員有志による よさこい&ダンス！

ステージ発表のフィナーレは、よさこいどっこいしょ&ヤングマン (YMCA) !

座っている人もステージに上がった人もみんなで踊って大いに盛り上がりました。





楽しい秋のひととき

日帰り旅行に行きました。

3年ぶりの旅行です！今年度は事業所ごとに日帰り旅行に出かけました。「全国旅行支援事業」を活用しながら、黒部や高岡、氷見方面に出かけ、美味しい食事や散策を楽しみました。

久しぶりの旅行とあって、旅行の実施が決定してから利用者さんの間では旅行の話題で盛り上がり、行先の投票を行ったところも。

みなさんの笑顔が溢れる旅行で、楽しい思い出がまた1つ増えました。



行先の紹介や投票があり、真剣に話を聞いています。

高岡・氷見方面



豪華な食事に笑顔がこぼれます。



乾杯!!



海浜植物園には面白い遊び場もたくさん。



黒部・宇奈月温泉方面



ひと休み♪



みんなで並んで足湯は気持ちいいね。

20歳を祝う会

令和5年1月11日(水)

／ 今年は3人の利用者さんが20歳を迎えました！おめでとうございます ／



かがやき

高多 真人さん



ひだまり

高波 駿太さん



ひだまり

坊田 博紀さん



令和5年1月11日(水)、「20歳を祝う会」を開催しました。令和4年4月1日から成人年齢が18歳となり、今回より「20歳を祝う会」としました。3密をさけるため、所属している作業班の仲間のみでの参加となりましたが、スライドショーで20歳の皆さんを紹介し、歌のプレゼント(Kiroroさんの未来へ♪)やビデオレターで、20歳をお祝いしました。



施設長より記念品を贈呈しました。



保護者会長からお祝い品を贈呈していただきました。



行事アラカルト

10月
5日

新湊ライオンズクラブ交流会

新湊ライオンズクラブの皆様と一緒に、漁港周辺のゴミ拾いを行いました。
声をかけ合いながらゴミを拾い、交流を深めました。



12月

4日~23日

クリスマス会

富山県共同募金会からの「NHK歳末たすけあい助成」を受け、作業班毎のレクリエーションゲームやお弁当をいただいたの昼食会を開いて楽しみました。



12月
22日

もちつき大会

「よいしょー！」久しぶりに餅つきの掛け声が中央ホールに響きわたりました。





歯とお口の健康を保ち、豊かな生活を



江口看護長

射水福祉会の看護師より、「口腔ケア」について紹介します。

歯磨き支援について

通所の利用者さんには、自身で歯磨きを行える方もおられますが、家族が歯磨き介助を行うケースもあるのではないのでしょうか。事業所においては、①声掛け②見守り③手添え磨き④介助磨きの段階に分け、効果的な口腔ケアの自立を引き出すお手伝いができると思います。

入所の利用者さんへの支援では、毎食後に歯磨き支援を行っています。重度化と高齢化による日常全般の介助度が増してきており、ゆっくり丁寧に歯磨きを行う時間をとることが困難な状況になりつつありますが、出来る限り一人ひとりに合わせた歯磨き支援に取り組んでいます。



口腔ケアの目的とこれから

口腔ケアは口の中を清潔にするだけでなく、歯や口の疾患を予防し、口腔の機能を維持することにあります。また、QOL（生活の質）のみならず、誤嚥性肺炎などの全身疾患の予防、全身の健康状態の維持と向上にもつながります。

出来るだけ長く健全な自身の歯を残し、美味しく食事が摂れ、健康な体でいられるよう、「セルフケア」と「プロフェッショナルケア」(歯科医や歯科衛生士などの専門的なケアとアドバイス)の両方を取り入れながら、より効果的な口腔ケアを継続していきます。



向野さん

歯科衛生士 向野正子さんによる 歯磨きワンポイントアドバイス♪

向野さんは富山県歯科保健医療総合センターの非常勤の歯科衛生士さんで、ボランティアで施設や支援学校を訪問し、歯磨き指導をしておられます。いみず苑の各事業所においても指導していただきました。



歯磨き前のブクブクうがい

ブクブクうがいは汚れを落とすことに加えて、口の周りの筋肉をほぐす効果もあります。

筋肉がほぐれることで口が開きやすくなり、歯と歯茎の境目なども磨きやすくなります。



保護者のつどい

「いみず苑に感謝」

松下 恵子 さん

コロナ禍、職員の皆様には大変お世話になり、ありがとうございます。

我が家の次男祐司は、ダウン症と診断され40年の月日が経ちました。特に大きな合併症もなく現在に至っています。

小さい時からこだわりが強く、大変なことも多いですが、子どもの頃からボール遊びが大好きで、楽しく遊ぶ姿、笑顔を見ると心が救われました。

高等部になり、就業体験が始まり、いみず苑での数回の実習を経て、いみず苑が大好きになり、卒業後の選択を「いみず苑」と発したのを今でも覚えています。いみず苑に通所させていただき、とても感謝しています。

長い月日が経ち、いろんな作業をたくさん経験し、いろいろな行事にも参加して、頼もしくなり職員の方々に深く感謝致します。

最近の仕事の様子を単語で報告することもあり、褒めてあげると笑顔もみられます。

私自身、高齢になり、祐司の将来の事を考える様になりました。職員の方のアドバイス等を

受けて、グループホーム七美に入居させていただきました。家ではほとんど介助をしていた子で、これからの生活に不安と心配はありましたが、苑の方々のあたたかい御指導、御協力で少しずつグループホームでの生活にも慣れ、週末には家に帰り、自分らしい楽しい生活が送られている様にみえます。

感謝で一杯です。

今後とも、どうぞよろしく申し上げます。



松下 祐司 さん



保護者会コラム



12月11日

苑内清掃を行いました。

1年の汚れが落ち、良い年を迎えられそうです。



12月22日

餅つき大会がありました。今年は保護者会で餅の味付けや盛り付けなどを行いました。

あいネット通信♪

あいネットいみずでは、障害に対する理解の促進を図るための普及啓発活動に取り組んでいます。その一環として、12月7日に「教育と福祉の講演会」を射水市立小杉南中学校で開催しました。「共生社会をはぐくむ～ウェルビーイング先進市射水市を目指して～」というテーマで、講師として富山国際大学子ども育成学部の村上満教授をお招きして、また、手話通訳士として富山県聴覚障害者協会の井上巴さんと射水市役所地域福祉課の益塚麻里子さんをお招きして、2年生88名に講演をしていただきました。講演の中では、手話を教えていただく時間があり、生徒の皆さんは真剣に手話に取り組んでいました。今回の講演を通して生徒の皆さんからは、「新しく学んだ知識をこれからの生活に活かしたい」、「自分を大切にしていきたい」などの感想が聞かれました。



あいネットいみず (射水市障害者地域活動支援センター)

あいネットいみずでは、障害(身体・知的・精神)のある方やその関係者の方々の相談に応じ、必要な情報を提供します。

..... あいネットいみず(射水市七美727 いみず苑内)

専用TEL (0766)86-8522 FAX 86-8530 Eメール info@inet-imizu.jp ホームページ <http://www.inet-imizu.jp>

ボランティア ありがとうございました

- 新湊理容師会(理髪)
- 訪問理美容サービス「フローラ」(美容)
- 向野正子(口腔ケア指導)(順不同・敬称略)

ご寄付・ご寄贈 ありがとうございました

- 田中智浩
- 富山県共同募金会
- (社)富山県善意銀行
- 森 紀子
- 片口社会福祉協議会
- やの園
- (株)フジノ電設工業
- 源天グループ裂織
- (株)分家商店
- 七美花と緑の銀行
- 山崎雅和 (順不同・敬称略)

苑の行事予定

令和5年1月現在

4月

入所式

花見

健康診断

5月

避難訓練

※上記の行事予定については、新型コロナウイルスの感染拡大状況等により、延期または中止となる可能性があります。

編集後記

今号のとねりこでは、久しぶりに苑祭や旅行などの行事やイベントの様子を紹介することができました。掲載する写真を選んでみると、日常とはまた違った利用者さんの笑顔や表情が溢れていて、感慨深いものがありました。

2023年は、干支でいうと「癸・卯(みずのと・う)」といい、「これまでの努力が実を結び、勢いよく成長する」「寒気が緩み、萌芽を促す」年であるそうです。皆さんのコロナ禍以降の頑張りや我慢が芽吹き、笑顔や希望の花が咲きこぼれる1年になりますように。

(真田章太郎 記)